

日本酒と

ワインの最前線



日本酒

日時 2019年
11月2日(土)
13:00~16:00
(12:30開場)

会場 新潟大学農学部 C110大講義室

対象 一般市民・高校生・大学生・
醸造関係者・農業関係者

参加費 無料 定員170名(先着順)

学際的な日本酒学研究を展開する新潟大学・日本酒学センターとこれまで地域連携のもとに農業や環境についての様々な課題に取り組んできた新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターとの共同企画により、新潟県、新潟県酒造組合との共同主催で、特別講演会を開催します。新潟にゆかりのある各界の方を講師にお招きして、日本酒とワインの最新の動きについて話題を提供して頂きます。

[司会進行] 大竹 憲邦 新潟大学農学部

[開会の挨拶]

高橋 均 新潟大学 副学長
品田 宏夫 刈羽村 村長
大平 俊治 新潟県酒造組合 会長

[講演1]

「日本酒学のコンセプト」

岸 保行 新潟大学経済学部 准教授

[講演2]

「新潟清酒について」

丸山 三左衛門 新潟県酒造組合 需要振興委員会・委員
にいがた酒の陣実行委員会 副委員長

[講演3]

「岩の原葡萄園の挑戦」

神田 和明 岩の原葡萄園 代表取締役社長

[講演4]

「フランスワインの生産・マーケティングに関する
主要統計~オーガニックワインの現状~」

Stéphane BECQUET VBNA/ITAB, Agronomist & winemaker

[通訳] Olivier RAGU ボルドーワインアンバサダー

主催：新潟大学・新潟県・新潟県酒造組合

後援：刈羽村

お問い合わせ / sakejim@cc.niigata-u.ac.jp

(新潟大学 研究推進機構)



QRよりメールアドレスの
各項目にご記入の上、
お申し込みください。



葡萄酒

